

令和4年度 かなたけの里公園 事業評価表

【 指定管理者名 チーム里の環 】

各項目の評価基準

評価	評価	提案事項	管理水準
5	10	提案事項を実施し、優れた成果を発揮している。加えて新規事項など評価できる取り組みがある。 (成果指標達成項目数80%以上かつ、新規事項など評価できる取り組みがある場合)	本市が求める管理水準よりも優れた成果をあげている。
4	8	提案事項を実施し、優れた成果を発揮している。 (成果指標達成項目数80%以上)(標準レベル)	本市が求める管理水準を達している。(標準レベル)
3	6	提案事項を実施している。 (成果指標達成項目数50%以上80%未満)	一部、本市が求める管理水準を達していない。
2	4	提案事項を実施したが期待した成果が得られていない。 (成果指標達成項目数50%未満)	ほとんど、本市が求める管理水準を達していない。
1	2	提案事項未実行している。 (提案事項を未実行していること正当な理由がない)	公園管理上著しい失態があるなど、本市が求める管理水準を達していない。

評価	総合点
A	85点以上
B	80点以上85点未満
C	70点以上80点未満
D	70点以下60点未満
E	60点未満以下

項目	配点	備考	委員会評価	
			評価点	コメント
(1) 利用者サービスの向上策	20		19	
① 高齢者・障がい者・乳幼児などの社会的弱者や、その他顧客のニーズに応じたサービス向上のための取り組みができていないか。	10	提案事項	10	①②地域活性化拠点「CO_YARD KANATAKE」の整備し、園内利用者の飲食の提供を行ったことが評価できる。 ③市が求める管理水準である。(標準レベル)
② 利用者のニーズ把握のための調査への取り組みができていないか。	5	提案事項	5	
③ 条例・公園管理マニュアルを理解し、利用の承継(優先利用を含む)について適正に実施しているか。	5	管理水準	4	
(2) 利用者の適切利用に向けた取組	5		4	
④ 利用者の適正利用に向けた取組ができていないか。	5	提案事項	4	④市が求める管理水準である(標準レベル)。
(3) 公園施設の適切・効率的な維持管理	25		22	
⑤ 提案の内容に適した維持管理計画ができていないか。	10	提案事項	10	⑤伐採竹のチップ化を行い、竹林に還元する資源の有効活用を行い、廃棄物の減少にもつなげている点が評価できる。 ⑥⑦市が求める管理水準である(標準レベル)。
⑥ 安全管理計画・緊急対応(災害・事故等)計画・保安警備計画ができていないか。	5	提案事項	4	
⑦ 実施協定書に記載されている管理頻度は達成されているか。	10	管理水準	8	
(4) 公園の特色を活かした事業展開	15		15	
⑧ 指定管理者企画事業による施設の活用はされていないか。	10	提案事項	10	⑧⑨地域活性化拠点の整備に伴い、公園で提供する農体験とキャンプが一体となったサービスの提供や、公園の余剰作物を使った飲食提供、地元農家さんと連携し、野菜の販売を行うなど、新たな公園利用者層に繋がっている点が評価できる。
⑨ 公園特色を活かす取り組み(集客向上策・広報計画)が出来ていないか。	5	提案事項	5	
(5) 運営体制と人材の確保	20		19	
⑩ 配置する予定職員が公園管理に必要な専門性・資格や経験職員の育成に必要な研修を行っているか。	5	提案事項	5	⑩公園の課題に応じた資格の取得を行っている点が評価できる。 ⑪周辺地域の農家や福岡市内の事業者と連携し、12園の新たなコンテンツを実施した点が評価できる。 ⑫⑬市が求める管理水準である(標準レベル)。 ⑭歳入の手引きに沿った適切な業務が行えている。
⑪ 地域との連携	5	提案事項	5	
⑫ 市担当者の指示又は協議事項を確実に実行しているか。	5	管理水準	4	
⑬ 協議録・日報・報告書等の関係書類が整理されているか。	5	管理水準	5	
⑭ 「歳入の手引き」を理解し、適切に実施しているか。	5	管理水準	5	
(6) 施設の管理運営に要する経費	5		4	
⑮ 施設管理に要する経費の総額について、申請者が運営費見積提案書で提示した指定管理料の額、及び総額の具体的項目、実施手法はできていないか。	5	提案事項	4	⑮市が求める管理水準である(標準レベル)。
(7) 団体の財務的基礎	-	-	-	
⑯ 借入金依存度	-	-	-	
⑰ 自己資本比率	-	-	-	
(8) 社会的貢献とコンプライアンス、環境への配慮	10		8	
⑱ 社会的貢献とコンプライアンス、環境への取り組みができていないか。	10	提案事項	8	⑱市が求める管理水準である(標準レベル)。
(9) その他	-		-	
	-	提案事項	-	
評価 総合点			A 91 /100点	(評価) 新型コロナウイルス感染拡大による移動制限も緩和され、オンラインイベントの開催に加え、公園内で、コロナ禍前と同年以上の参加希望者のイベントを開催できた点が評価できる。 また、地元からの要望もあり、朝夕の農体験を提供するためのツールとして、新規施設を設置し、新たな公園利用者の発掘に繋がっている点も評価できる。引き続き、公園と新規施設、地元と協力し、魅力ある公園づくりを行ってほしい。 (課題) 新規事業施設と、公園及び近隣農家と連携した新たな農体験プログラムの作成などを行い、金沢地域の活性化につなげていけるかが課題である。